

1 1月総評

西躰 かずよし

斜陽転じてぼくだけのぺるせぼね

さいう 石川県

なんだかよくわからないけれど、とても魅力的な作品。斜陽というどちらかと言えば影のあることばが自分だけの女神にかわる。ユニークな発想が、思い切りのいいことばで表現されていて心地いい。かな表記と漢字表記の使い分けや、「ぺるせぼね」といったことば選びも秀逸。

それは、同じ作者の「おうごんの／うぶげに／頬をまもらせて／土偶のようにいもうとねむる」といった作品にも共通する。筆者は何気ない毎日を、わくわくする物語のワンシーンに変えてしまう魔法使いなのかもしれない。

銀杏並木に光さすから学校は
世界のはじまりみたいな夕べ

azusa 京都府

物語は銀杏並木に光がさすところからはじまる。そこにいることが少しだけ許される出産の際の立合いのような時間。学校が、世界のはじまりのような夕べに変わるとき、それを表現するのはことば以外のものかもしれない。

同じ作者の作品に「病棟に消灯のある冬銀河」というのがあるが、こちらは世界の終わりを感じさせるような作品になっている。

方向をふらっと変える人にぶつか
る その夜魚をきれいに食べる

高田皓輔 千葉県

ぼんやりしていて人とぶつかることがある。そんなとき、申し訳ないような、なさけない

ような気持になる。唐突な出会いと言うには、あまりに希薄な関係。そこに美しい出会いや悲劇はおそらく発生しない。作品から伝わるのは、そうしたおぼろげな感情である。きれいに魚を食べることだけが、語り手ができる唯一の贖罪のように見える。

浅瀬には
名も知らぬ魚と
母がいた。

四方山駄作 岡山県

名まえも知らない魚と、名まえを知る母が同じ浅瀬にいる。名まえを持つものとそうでないものとの断絶。たとえば戦場における敵と味方のように。語り手は、魚と母との間にそうした断絶を見たのだろうか。あらためて名付けられるものと名付けられないものとの言いようのない距離を思う。

「もしあなたが人間であるなら、私は人間ではない。もし私が人間であるなら、あなたは人間ではない。(※)」

※ 石原吉郎、ペシミストの勇氣より

蛍光灯が銀河を結び秋の夜

日和 東京都

ほほえましいほどスケールの大きい作品。その豊かな発想に惹かれる。工業製品である蛍光灯が銀河を結ぶなんてちょっと想像できない。こうした作品を読むと、ペットボトルで太陽まで行くとか、なんだってできる気がしてくるから不思議。

東京の空はうすいみずいろで
もう会えない人うすむらさきで

松下 とら 大阪府

ノスタルジックな映画の断片のように、空も人もうすい色で描かれる。その淡さに象徴されるように語りの声はやさしい。東京の空やもう会えない人。それは語り手にとってどのよ

うなものだったのだろう。作中における「もう会えない人」という一節は、筆者の時間が人生の折り返しにさしかかっていることを示唆するようでもある。

伯父さんの四駆から見た冬の虹

伊井 豊浩 千葉県

虹を見たときの語り手の驚きがありありと読者に伝わる。「伯父さんの四駆」という短い言葉だけで、車で連れて行ってもらったときの情景が浮かぶ。そのとき窓の外に見えた虹は、作者にとって宝ものとなったに違いない。

プールサイド

かいだことのある景色

まだあたたかいあまつぶ

こはくいろ 大阪府

プールサイドを表すふたつのことば。「かいだことのある景色」「まだあたたかいあまつぶ」。それだけといえば、それだけなんだけれど、そのことばですべてが表わされる。夏のプールサイドに漂う塩素の匂いと、冷えた体に落ちる雨つぶ。描かれる情景だけで、読者はその場所まで連れていかれる。

シーツには母のシワあり宵螢

川上 諒人 福島県

実際のシーツに母の皺があったわけではないと思う。きっと語り手が偶然シーツに見た皺が、母のそれのように感じられたのだろう。ただ敢えて「シワ」と書かれているので、母がかたどったシーツのくぼみをシワと詠んだとも読める。いずれにしても、ここでの母は既に喪われてしまったものとして語られているように感じる。宵の螢は母を見送っているのかもしれない。

六畳 思い出の絵本
会いたい お母さん

ぼぬ 東京都

この作品のことばは、まるで断片のようにも見える。
それは幾度となく捨てたことばの後になお残ったものだからだろうか。
このことばになるまでにかかった筆者の年月を思う。

高速はラブホをかすめ駆けてゆく
修学旅行の夜は賑やか

永井 下 京都府

「修学旅行の夜は賑やか」と書かれているけれども、どこか醒めた印象が漂う。むしろその一節は、語り手の心情がそこから遠く離れた場所にあることを表しているかのようである。それは、語り手の視線が、賑やかさには向かわず、バスの窓外のラブホテルに向いていることと無関係ではないだろう。

目についたラブホテル。それはこの作品をより乾いた印象とするのに一役買っている。